

# 船穂小学校 校長室だより

令和2年12月23日

第8号

## 実りの2学期でした。

8月末から始まった長い2学期もあと少しで終わります。日帰りでの修学旅行や山の学習、遠足や社会科見学、運動会や学芸会など、行事が盛りだくさんでした。コロナ禍とはいえ、子どもたちはぐんと成長し、様々な場面でたくましい姿を見せてくれました。

例年とは異なる形式のものが多く、保護者の皆様には、ご心配やご迷惑をおかけしたことと思います。1学期の分散登校等で遅れた学習は、土曜日の行事の振替休業をなくしたり、4年生以上は毎週水曜日の5校時授業を6校時にしたりしたことで、取り戻すことができました。（3学期は、水曜日を5校時授業に戻します。）

なお、今までは文部科学省のガイドラインにのっとり、体育や外遊びの時はマスクをしなくてもよいとしていましたが、今後は息苦しい場合を除き、常にマスクをすることにしました。

新型コロナウイルスは予断を許さない上に、インフルエンザも心配です。子どもたちが、健康で楽しく冬休みを送れることを願っています。

## 気持ちのよい 朝のあいさつ

運動場から校舎に向かったの元気なあいさつが、1学期から毎朝欠かさず続いています。今日も、子どもたちの有志が、南門や体育館横に並んで登校してくる人たちをあいさつで迎えた後、運動場へ並びました。最近では、5・6年生に加え4年生、さらには1年生もこの列に加わるようになりました。その人数が次第に増え、50人以上並ぶ日もあります。あいさついっぱい学校になってほしいと願っている私にとって、たいへんうれしいことです。

気持ちのよいあいさつができる子がたくさんいる船穂小学校は、とてもすてきな学校です。



6年生と1年生が並んであいさつ

## クラスのよいところがたくさん！

代表委員会が各クラスのよいところを集め、ろうかに掲示しています。どのクラスにもよいところがたくさんあります。

「男女関係なく、なかよし」「個性を認め合っている」  
「進んで人助けができる」「注意でなく、アドバイスできる」  
「給食を残さない」「外で元気に遊ぶ」……。

自分のクラスをもっともっと好きになってほしいです。

